

卒業30周年記念同窓会

浜坂浩幸（高39）

宝達志水・今浜

羽咋高等学校第39期卒業30周年記念同窓会を、8月11日に和倉温泉「あえの風」にて開催し、盛会のうちに終えることができました。

まず、地元に住る同級生に声をかけ、12名が集まり例年より遅い2月から本格的に準備がスタートしました。最初は、準備の話よりも久しぶりに会ったことで話が盛り上がりましたが、7月には急ピッチで作業を進め、同窓会当日を迎えました。

当初は「同窓会を無事開くことができるだろうか。何人出席してくれるだろうか。」と不安もありましたが、恩師の先生7名を含む97名（他に寄付参加50名）の参加を頂きました。

受付では「誰？」「オレだよ」「かわつたな」から始まり、親睦会のアトラクションでは、同級生がメンバーの一員である志賀町「大念寺八幡太鼓」が披露され、会場は大いに盛り上がりました。また、画家になった同級生が、30年前のアルバムの中にいる先生のイラストを描いてもらい、記念品として贈り、先生の皆さんは、大変喜んでくれました。そして、2次会でも思い出話に花が咲き、夜遅くまで語り合いました。帰り際には、「楽しかった」「ありがとう」と言葉をかけてくれて、ほっと肩の荷がおりました。

同窓会の開催にあたり母校への寄付をお願いしたところ、参加できない同窓生からもたくさん寄付が集まりました。無事同窓会を開催することができたのも、世話人に名乗り出て協力してくれた方々のおかげであります。



高校に寄付した時、校長先生と

最後に、応援歌のしおりや校歌のCDを提供していただいた羽咋高校同窓会をはじめ、多くの方々の協力で同窓会を終えることができたことに感謝し、ここに報告させていただきます。



和倉温泉「あえの風」にて

書籍紹介

「食通のおもてなし観光学」

本書は、石川県の食文化を含み、
①おもてなし観光のウンチクを語るネタ本。
②全162テーマをコラムにてさばき、料理するをモットーにして10章で構成してあります。

- *観光ビジネスは大根役者で勝てるか
- *第六次産業化への賛否の鍵は
- *日本の料理の源流とは何か
- *食のおもてなしを六何の法則で考えると
- *和食は調理法のみ固有
- *東京オリンピック倒れにならぬか
- *新幹線で北陸の食の宝庫へ
- *ゴリ押しならぬ古都・金沢らしさを
- *能登の「アエノコト」で村おこしを
- *能登の魚醤鍋で舌つつみ
- *イスラム社会の手食文化の効果
- *イスラム教のハラールとハラムの違いは何か
- *その他多数

おもてなし観光学と称しておりますが、石川県の食文化に関する記述も多くあります。

著者紹介 山上 徹（高14） 羽咋・粟生

職歴

日本大学教授、
同志社女子大学教授を経て
桜花女子大学食文化学部教授
同志社女子大学名誉教授
石川県人会副会長
羽咋高校前会長
ふるさと関東羽咋会副会長等



平成29年度

羽咋高校 関東同窓会 総会講演会 懇親会報告

平成29年11月18日(土)
東海大学校友会館 (霞が関ビル35階)

総会



本多群司 (高16)
会長



倉部行雄 (中18)
名誉会長



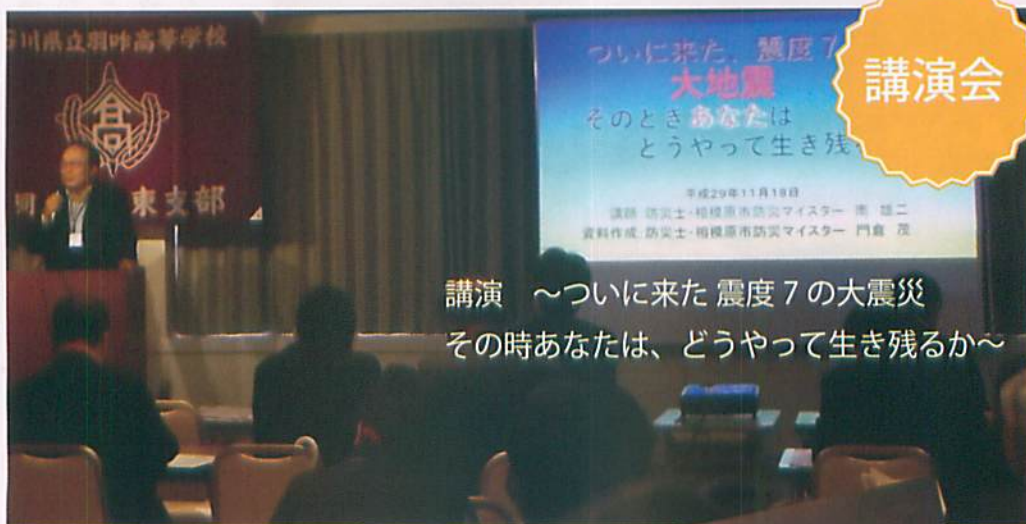
前田一弘
校長



吉岡 亨
(高6)



南雄二 (高20)



講演会

講演 ~ついに来た 震度7の大震災
その時あなたは、どうやって生き残るか~



和田智恵 (高26)
司会



小川道雄 (高16)

